

小型野菜における農薬残留特性



図1 小型野菜(ミズナ)の栽培の様子

図2 小型野菜と標準野菜の収穫時の果実(キュウリ)

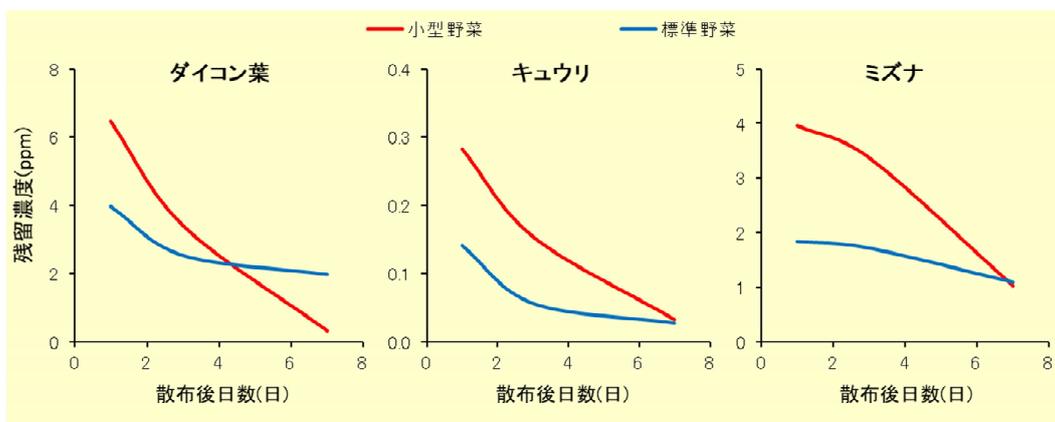


図3 小型野菜と標準野菜における農薬の残留濃度推移の例

産直店舗等で販売されている農作物の中には、標準出荷サイズの野菜(以下、標準野菜)だけでなく、ダイコンのぬき菜やミニキュウリといった標準野菜の1/2以下のサイズの野菜(以下、小型野菜)があります(図1、2)。このような小型野菜に対して農薬を使用した場合の残留性に関する知見は多くありません。そこで、ダイコン葉とキュウリ、ミズナについて、小型野菜と標準野菜の農薬残留特性を調査しました。

その結果、いずれの作物においても、散布1日後の残留濃度は小型野菜の方が高

く、その後は日数の経過とともにサイズによる差は小さくなり、散布7日後には同程度、もしくは小型野菜の方が低くなりました(図3)。

なお、ダイコン葉、キュウリ、ミズナにおいて、8~11種の農薬の残留濃度を調査したところ、農薬使用基準にしたがって使用した場合、残留基準値を超えることはなく、安全性に問題がないことを確認しました。

今後、他の作物についても、小型野菜の農薬残留特性を調査する予定です。
(農薬管理担当 森田展樹 088-863-4915)

高知県農業技術センターニュース 第104号 令和3年7月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 松村 和彦

農業技術センター

〒783-0023
高知県南国市廿枝 1100
TEL (088) 863-4912
FAX (088) 863-4913
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064
高知市朝倉丁 268
TEL (088) 844-1120
FAX (088) 840-3816
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801
吾川郡仁淀川町森2792
TEL (0889) 32-1024
FAX (0889) 32-1152
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>